

3 二 文章に対する感想や意見を伝え合い、自分の文章のよいところを見付ける

【文章1】

わたしは、五年生の時、美化委員長の南さんが卒業する前に話してくれた。みんなにそう用具の正しい使い方を知ってほしいという思いをもち、正しく使うことができてきている学校の様子をうかがして、各学級にしようかいいという活動がすぐばらしいと思いました。

この話を聞き、五年生の時にさばい委員会自分が行った活動をふり返りました。そして、当番の日に水やりをするだけで、南さんのように、みんなのために新たな活動を提案できなかったことをはんせしました。

わたしは今年、運動委員になりました。運動が苦手な人もしたむことができるように、ルールや道具をくふうした、おに遊びやボールゲームを各学級にしようかいいです。

【文章2】

わたしは、五年生の時、美化委員長の南さんが卒業する前に話してくれた。活動への思いがすばらしいと思ったりはします。南さんは、みんなにそう用具の正しい使い方を知ってほしいという思いをもち、正しく使うことができてきている学校の様子をうかがうして、各学級にしようかいいです。

この話を聞き、五年生の時にさばい委員会自分が行った活動をふり返りました。そして、当番の日に水やりをするだけで、南さんのように、みんなのために新たな活動を提案できなかったことをはんせしました。

わたしは今年、運動委員になりました。運動が苦手な人もしたむことができるように、ルールや道具をくふうした、おに遊びやボールゲームを各学級にしようかいいです。

二 島谷さんは、川口さんと【文章2】を読み合い、感想を伝え合いました。次の【伝え合いの様子の一部】をよみ、あとの問いに答えよう。

【伝え合いの様子の一部】

島谷さん 私のがんばろうとしていることが伝わるかな。

川口さん 伝わってきたよ。それは、上級生が話してくれたことや、委員会で活動したことをもたしているからだね。

島谷さん それはよかった。他に気づいたことはあるかな。

川口さん 最後の段落がいいね。なぜかという、最初の段落の内容をより具体的に書いているから、今年ががんばろうとしていることがよく伝わってきたよ。

島谷さん ありがとう。自分でもふり返ってみるね。次は、川口さんの文章を読んだ感想を伝えるね。

〇（伝え合いが続く）

（問い） 島谷さんは、川口さんと伝え合ったことをもとに、自分の文章のよさをふり返り、書くことにしました。あなたが島谷さんなら、どのようなよさを書きますか。次の条件にのませて書きましょう。

（条件）

- 【文章2】のよさを書くこと。
- 【文章2】から言葉や文を取り上げて書くこと。
- 六十文字以上、百字以内にとめて書くこと。

※元の原稿用紙は下書き用なので、使っても使わなくてもかまいません。解答は、解答用紙に書きましょう。
※の印から書きましよう。どちらで行きを変えないで、続けて書きましよう。

3

島谷さんの学級では、「六年生としてがんばりたいこと」を書くことにしました。次は、島谷さんが最初に書いた【文章1】と書き直した【文章2】です。これらをよみ読んで、あとの問いに答えましよう。

■学習指導要領における領域・内容
 [第5学年及び第6学年] 思考力、判断力、表現力等 B 書くこと
 カ 文章全体の構成や展開が明確になっているかなど、文章に対する感想や意見を伝え合い、自分の文章のよいところを見付けること。

■正答及び正答率等

正答	正答率	誤答率	無答率
(正答の条件) 次の条件を満たして解答している。 ① 【文章2】のよさについて以下のことを書いている。 a 聞いたことや経験したことをもとにしていること b 最後の段落にがんばりたいことを具体的に書いていること c a、b以外のこと ② 【文章2】から言葉や文を取り上げて書いている。 ③ 60字以上、100字以内で書いている。	39.0%	46.7%	14.3%

■主な誤答とその要因

主な誤答	要因
(誤答例) 条件②は満たしているが、条件①は満たしていないもの	【文章2】から言葉や文を取り上げているが、【文章2】のよさについて書いていない。このことから、【伝え合いの様子の一部】の内容を踏まえるなどして、【文章2】のよいところを見付けることができていない。

内容の系統と指導のポイント

小学校第1・2学年

文章に対する感想や意見を伝え合い、自分の文章の内容や表現のよいところを見付ける能力を身に付けさせる

- ① 町の中で見付けたおもしろいと思ったものについて、気付いたことや、先生や家の人に聞いたこと等をメモに書く。
- ② メモを基に文章の組立てを考える。文章を書いて、読み返す。
- ③ 友達の文章を読んで、初めて知ったことや、分かりやすかったところを伝え合う。

B 書くこと 才

文章に対する感想や意見を伝え合い、自分の文章の内容や表現のよいところを見付けること。

小学校第3・4学年

文章に対する感想や意見を伝え合い、書こうとしたことの明確さ等、自分の文章のよいところを見付ける能力を身に付けさせる

- ① テーマを決めて、知りたいことについて調べる。調べたことの中から、伝えたいことを付せん等を使って整理する。
- ② 読む人に自分の考えが伝わるように、文章の組立てを考えて文章を書く。書いた文章を読み返す。
- ③ 書いた文章を読み合い、納得したことや、分かりやすいと思った書き方について伝え合い、自分の文章のよいところや改善点に気付く。

B 書くこと 才

書こうとしていることが明確になっているかなど、文章に対する感想や意見を伝え合い、自分の文章のよいところを見付けること。

小学校第5・6学年

文章に対する感想や意見を伝え合い、文章全体の構成や展開の明確さ等、自分の文章のよいところを見付ける能力を身に付けさせる

- ① 日常生活の中で、自分が興味のあることから題材を決めて、自分の考えを書き出す。他の立場から考えを見直したり、必要に応じて情報を集め直したりする。
- ② 自分の考えが明確になるように、文章の構成を決め、構成に沿って自分の考えを意見文にまとめる。書いた文章を読み返す。
- ③ 意見文を読み合い、説得力のある書き方だと思ったところを中心に伝え合い、友達の文章のよいところを自分の表現に生かす。

B 書くこと 力

文章全体の構成や展開が明確になっているかなど、文章に対する感想や意見を伝え合い、自分の文章のよいところを見付けること。

本設問の活用の手順

- ① ペアやグループで伝え合う際には、目的や意図に応じた文章の構成や展開になっているかを判断できるように、学習過程の各段階のメモ等についても共有する等して、書き手の目的や意図を共通理解させておく。
- ② ペアやグループで伝え合っている様子を教師が確認し、状況に応じて働き掛ける際には、次の点を大切に指導する。
 - 文章全体の構成や展開についての伝え合いに至っていない場合は、教師が伝え合いに参加し、文章の構成や展開のよいところを児童から引き出して価値付けたり、書き手に、文章の構成や展開について工夫した点や改善した点等を、具体的に言葉で表出させたりする。
- ③ 伝え合う経験を積み重ね、自分の文章のよいところを見付け、それを言葉で表すことを繰り返し指導する。